

従業員の皆さんへ

今年の夏も猛暑(というよりも酷暑)日で40℃に迫る日が続いて、連日「熱中症アラート」が発出されています。屋外や昼間は言うまでもありませんが、屋内や夜間でも熱中症には十分注意をお願いします。今回の安全衛生委員会のテーマは、暑さで発汗量も多くなり、また集中力も低下し、感電死傷事故が発生しやすい8月に経済産業省主唱のもと、電気事故の未然防止を目的に行われている「電気安全使用月間」について考えたいと思います。

令和5年度の重点活動テーマは、

- ①感電・火災の防止の為、身近な破線・コンセントを確認しましょう
- ②無資格の電気工事は危険ですので、必ず有資格者に依頼しましょう
- ③自家用設備は、適切な保守点検と計画的な更新で電気事故の未然防止に努めましょう
- ④地震、雷、風水害などの自然災害に備え、日頃から電気の安全に努めましょう です。

次からのイラストを参考に電気を安全に使いましょ！

分電盤は電気の見張り番！

家庭に送られてきた電気は、分電盤を通して各部屋に届けられます。分電盤には、漏電遮断器(漏電ブレーカー)が取り付けられており、電気の安全をしっかりガードしています。もしもの場合に備えて分電盤がどこにあるのか確かめておきましょう。また、分電盤の前には物を置かないようにしましょう。

分電盤には一般的に写真の通りの二つのパターン(電流制限器あり・なし)があります。

電流制限器

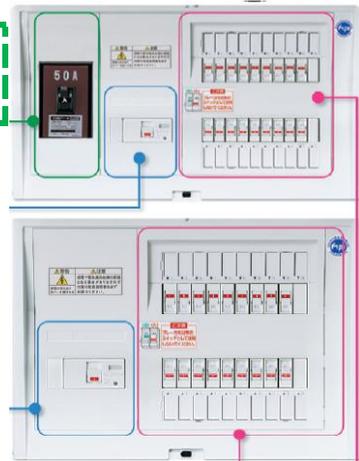
容量以上の電気が流れると自動的に電気が止まる仕組みになっています。

漏電遮断器(漏電ブレーカー)

感電や火災の原因となる漏電を素早く検知し、自動的に電気を止め、電気事故を未然に防ぎます。過電流に対応しているものもあります。長期間使用していると、経年劣化などにより正しく作動しなくなることもあります。ご家庭で定期的にテストボタン(灰色または赤色)を押して確認するようにしましょう。(テストボタンを押して正常に作動した場合は家全体が停電となりますのでご注意ください) テストボタンを押しても作動しない場合は、お近くの電気工事店へご相談ください。なお、取替の目安は15年程度です。また、単相3線式(100V/200V使用可能)の配線には、「中性線欠相保護機能付き漏電遮断器」をおすすめします。

配線用遮断器(安全ブレーカー)

電気の行き先(回路)ごとに配線用遮断器がついています。配線が過熱するのを防ぐため、コードがショート(短絡)したり、決められた容量を超える電気が流れ続けると自動的に電気を止めます。例えば電気炊飯器とホットプレートと同時に使用すると26Aとなり、配線用遮断器の容量20Aを超えるため、配線用遮断器が作動して電気を止めます。エアコン、衣類乾燥機などの電気を多く使う機器は、専用回路にすることをおすすめします。



災害に備えましょう

災害はある日突然やってきます。普段から災害時のそなえや心構えをしておけば、いざというときにも慌てずにすみます。

あつ地震！グラツときたときは

スイッチを切って、プラグを抜いて

地震の時は火災に注意。アイロン、ドライヤー、ストーブなどの熱を出す機器を使っている時はプラグをコンセントから抜きましょう。

電流制限器か漏電遮断器を「切」にして避難

地震で一旦(もしくは一度)停電になっても、送配電事業者の設備に問題がなければ、送られてきます。自宅を離れ避難するときは、電気の消し忘れなどによる事故(通電火災)を防ぐために、分電盤の安全をチェックしましょう。ガス漏れの恐れがあるときには、電気を使用しないようにしましょう。



日頃の備え

- ・日頃から、懐中電灯(手動発電式のものもあります)や携帯ラジオ、防災リュックなどを用意しておきましょう。また、電気の契約先(小売電気事業者)や電気工事店の連絡先を確認しておきましょう。
- ・モバイルバッテリーの手動発電機等、携帯電話やスマートフォンなどを充電できる装置を用意しておく、いざという時に役立ちます。
- ・停電によるパソコンのデータ消失などを防ぐには、UPS(無停電電源装置)などの設置をおすすめします。

ピカッ、ゴロゴロ雷だ！

プラグを抜いて！

落雷による影響で、電気機器が壊れたり、火災が発生することがあります。近くで大きな雷が鳴ったら、電気機器のプラグはコンセントから抜き、電話線もモジュラージャックから抜くようにしましょう。なお、雷に対応した分電盤もあります。避雷器が内蔵されている分電盤は、電源線、アース線より侵入する雷から、家庭の電気機器を守ってくれます。



台風・暴風雨に備えて

飛来物防止のために屋外設備等をしっかりチェック

強風でアンテナやトタン屋根、自転車等のカバー、ハウス等のビニールシートなどが飛ばされ、電線・電柱にかかると、断線や電柱倒壊等を引き起こし、長期停電の原因になります。台風などによる強風に備え、あらかじめ屋外に設置されているものはしっかりと固定することを心掛けましょう。また、台風による浸水などで屋内配線や電気機器が水に浸ってしまった場合は、使う前に必ず電気工事店などにご相談ください。



切れた電線には絶対に触らないで！

送配電事業者へすぐご連絡を

垂れ下がった電線に触ると感電する恐れがあります。切れた電線には絶対に触らないでください。また、樹木や看板、アンテナなどに電線が触れている場合も危険です。見つけた時には近づかないで、すぐお近くの送配電事業者へご連絡ください。



8月は 電気使用 安全月間 です。

自家用設備は、適切な保守点検と計画的な更新で電気事故を未然に防ぎましょう

地震、雷、風水害などの自然災害に備え、日頃から電気の安全に努めましょう

日常の暮らしの中で、電気を安全に、上手に使いましょ

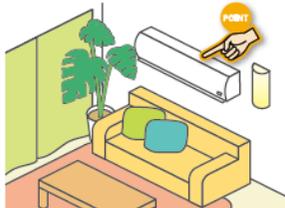


おうち時間で 電気の掃除・点検を しよう!

掃除編

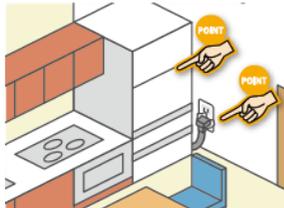
1 エアコンのフィルターは月に1、2回は掃除をして、室外機まわりをキレイに!

フィルターはほこりなどが詰まると性能をフルに発揮しにくくなります。掃除をして、効率よく室内を冷やしましょう。また、室外機の近くに物があるとエアコンの効きが悪くなります。何か物を置いていないかチェックしましょう。



3 冷蔵庫は詰め込み過ぎず、整理整頓を!

冷気の通り道があるとよく冷えます。詰め込み過ぎないように整然と並べましょう。



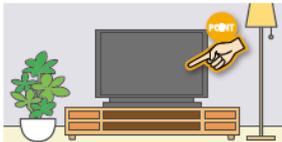
4 照明器具の清掃をしましょう!

照明の傘やカバーが汚れると明るさが低下します。



5 テレビ画面をキレイに掃除することで明るさを抑えて使用!

明るすぎる設定はもったいない。画面の掃除もお忘れなく。



おうち時間で 電気の掃除・点検をしよう!

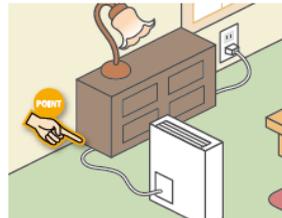
ここでは「点検編」をご紹介します。家の中を点検して、電気の利用効率をアップしましょう!

点検編



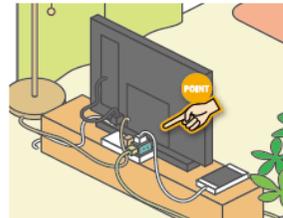
1 コードの上に物を置かないで!

断線やショート、漏電が起こり、火災につながる恐れがあります。



4 タコ足配線は危険です!

コンセントに決められている以上の電気製品をつなぐと過熱・発火の恐れがあります。



2 電気製品にはアース線を!

感電の危険を小さくするため、洗濯機・冷蔵庫・電子レンジなど湿気のある場所で使うものには必ずアースをつけましょう。



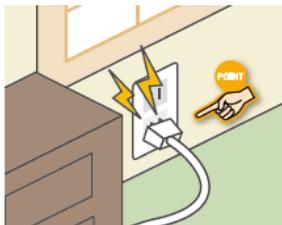
5 トイレの設定温度や使用モードをチェック!

季節や使用頻度に合わせてこまめに調節しましょう。



3 プラグはしっかり差し込みましょう!

中途半端な差し込み方では過熱・発火の恐れがあります。



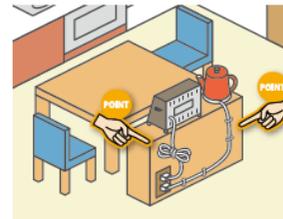
6 長く使わない時はプラグをコンセントから抜きましょう!

待機電力を節約できます。旅行時などは必ずチェックしましょう!



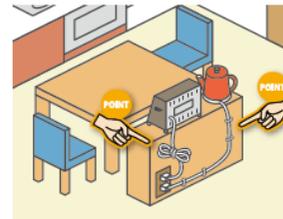
7 コードは束ねて使わないで!

コードを束ねて使うと過熱・発火の恐れがあります。



8 コードを固定するのはやめましょう!

コードを壁や柱にステッplerなどで打ち付けて使うと、コードが断線したり、被覆に傷が入ってショートや漏電の原因になります。



9 エアコンの温度設定は控えめに!

エアコンは、夏は28℃、冬は20℃を目安に設定しましょう。



そうじも点検も定期的にするといいね!



最後に、まだまだ暑い日が続きます。無理をせず、適切なエアコンの利用、喉が渇いていなくてもこまめに水分、塩分補給、バランスの良い食事の摂取、睡眠確保でこの夏を健康に乗り越えましょう!